

新しい診療体制について

理事長・院長 両角 國男



2017年4月から増子記念病院の診療は大きく変わりました。常勤医師の大幅増加、診療内容を充実させる医療機器の導入、センター化して機能性を高める取り組みが始まります。

待望であった神経内科を開設し、竹内有子先生が部長として着任されました。神経内科専門医で優れた神経内科医として高い評価をされてみえます。増子記念病院には多くの腎臓病患者さん、糖尿病患者さん、循環器疾患の患者さんなど脳神経疾患を合併する患者さんが多く来院されています。神経内科の開設により脳神経疾患のある患者さんや、今後の発症リスクが高い患者さんに最新で最良な診断と治療や予防対策を提供できます。

神経内科診療開始に合わせシーメンス社の最新MRI診断装置も導入しました。脳梗塞などの脳神経疾患、腰痛症やしびれなどの脊髄疾患、肝臓病や膵臓病、前立腺がん、血管の病気を速やかに診断することが可能となり、より適切な治療が可能となりました。

また、新たに総合診療科・小児外科を開設し、部長として橋本俊先生が着任されました。小児外科講座大学教授の実績に加え、総合診療の経験も豊富な先生です。現在注力している「地域に貢献する病院」としての中心的役割を担われます。小児から高齢者まで、発熱、腹痛、腰痛など皆さんがお困りの症状に対し、必要な検査を直ちに実施可能な増子記念病院の特徴を生かし最適な治療を行い、必要時には専門医への紹介を橋本先生の広い人脈を生かして迅速に行います。

増子記念病院は「腎臓病の専門病院」として高い評価をいただいておりますが、新たに「腎臓病総合医療センター」として、腎臓内科、透析内科・外科、腎移植科、泌尿器科を結集しセンター化しました。腎臓内科に新進気鋭の佐藤諒先生、経験豊富な白澤祐一先生が加わり、腎移植科には腎臓内科医としてキャリア豊富な西平守邦先生が着任されました。新たに加わった医師を含めた強力なチームで全ての腎臓病の診断から治療まで、尿検査異常から腎不全、透析療法、腎移植までを網羅するセンターです。透析療法では長時間透析に積極的に取り組み、オーバーナイト（深夜長時間）透析患者さんは35名を超え、中部地方ナンバー1となり、さらに増加していく予定です。

肝臓病では、他施設では対応できない難治性腹水への治療や肝臓がんへの積極的な治療を精力的に行っています。

2015年に新築・改築が終了し整備された優れた院内環境を背景に、増子記念病院が今まで以上に「肝臓病と腎臓病」の患者さんに貢献し、真に「地域医療に貢献する」病院としてスタートした記念すべき2017年が始まります。

● お気軽に総合診療科へご相談ください

岐阜県の下呂町(市)生まれ、昭和45年、名古屋市立大学卒業、消化器外科と小児外科を専門として生体移植術を行ってきました。藤田保健衛生大学を経て介護老人保健施設、一般病院を経験し、身体の表面から、あたま・くび、胸・お腹、肩・腰、うちみ、神経痛などの初期診療に未熟児から御高齢の患者様まで年齢を問わず、ご心配なことがあれば気軽にご相談下さい。



総合診療科・小児外科
橋本 俊 先生

● 新しく神経内科が開設されました

この度4月に赴任いたしました、神経内科の竹内と申します。神経内科は、頭痛やしびれ、ふらつきといった身近な症状について原因検索をしたり、脳梗塞、脳出血といった脳血管障害や認知症といった疾患の診断・治療をする科です。また、パーキンソン病やてんかんといった疾患や、種々の難病の診療やケアをしていきます。日頃、気になる症状があれば、いつでもご相談ください。



神経内科
竹内 有子 先生

● 新規検査機器 MRIが導入されました



平成29年6月から当院にMRIが導入されました。MRIは磁気の利用して脳、脊髄、肝臓、前立腺など幅広く検査ができる機器です。また、頭蓋内の血管や下肢の動脈なども、造影剤を使用せずに検査が施行できます。放射線被爆もなく、患者様に優しい検査といえます。いろいろな撮像法で、他の検査ではわかりにくい部位、疾患を精査していくことが可能となります。